



リッチモンド小学校との交流（その2）

③福野小学校での授業交流

リッチモンド小学校の子供たちは、6月24日（土）、25日（日）の2日間をホストファミリー宅で過ごし、26日（月）と27日（火）の2日間は、福野小学校の子供たちと一緒に授業を受けたり、休み時間や給食の時間を過ごしたりしました。概ねホストファミリーの子供と一緒に高学年の学級に割り振られています。



学級担任としては、何の教科のどんな授業をすればよいのか悩ましいところではあったと思いますが、外国語科や習字だけでなく、国語科の短歌づくりや算数科の計算問題、理科の顕微鏡の使い方等、普通に授業が行われていました。短歌をつくることなんて初めてでしょうし、計算の仕方も国によって違います。それも慣れない日本語で進む授業です。一緒に参観して回ったリッチモンド小学校の川崎先生に、「授業分かりますかね？」と尋ねてみると、「何となく分かっていると思います。分からなくてもいいのですよ。日本の文化や、リッチモンドとの違いに気付いてくれたら、よい経験になると思います」と言われました。隣に座っている福野小学校の子供たちも丁寧に教えている様子もありました。

休み時間は、ドッジボールをしたり遊具で遊んだり、鬼ごっこをしたりするなど、暑い日だったのに、福野小学校の子供たちとよく遊んでいました。リッチモンド小学校の子供は、運動服ではなく私服であることと髪の毛の色が違っていることで、福野小学校の子供と見分けがつかれましたが、そうでなかったら分からないほど、馴染んで遊んでいました。

また、1～4年生も1時間だけですが授業交流をする時間がありました。1年生は学年集会で「質問教室」「Yes・Noクイズ」「じゃんけん列車」、2年生も学年集会で「じゃんけん列車」「ジャンボリミッキーダンス」、3年生は学級ごとに「爆弾ゲーム」「だるまさんが転んだ」等、4年生は学年で「日本の遊び」「クイズ・ゲーム」「鬼ごっこ」をしていました。どの学年もリッチモンド小学校の子供たちに楽しんでもらおうと自分たちで考えを出し合い、その日を迎えていました。頑張った甲斐があって楽しい交流ができていました。



④さよなら式

27日（火）の5限目には、全校児童とリッチモンド関係者が体育館に集まって、さよなら式を行いました。はじめにリッチモンド小学校の代表の子供が交流の感想を

話しました。「とても楽しかった」「給食はとてもおいしかった」「体育館が広くてびっくりした」「休み時間は一緒に遊んでくれてありがとう」等、流暢な日本語でした。そして、練習してきた歌と踊りの出し物を披露してくれました。その後、管楽器クラブの演奏に合わせて、みんなで「ツバメ」を踊って歌いました。引率の川崎先生からは「リッチモンド小学校の子供たちは幼稚園の時から日本語の勉強をしてきました。コロナになって日本に来られるかどうか心配だったけれど、今回の交流で自分たちが勉強してきた日本語がどれくらい使えるのかを確かめるよい機会になりました。福野小学校の皆さん、本当にありがとう」と子供たちに話していただきました。

⑤リッチモンド小学校の皆さんとのお別れ

28日(水)の朝、ホストファミリーの皆さんと一緒にリッチモンド小学校の皆さんが学校に集まってきました。本当に、本当に、さよならです。体育館で簡単な式を行い、いよいよバスに乗り込む時間となりました。ホストファミリーの家族とリッチモンド小学校の子供が記念写真を撮ったり、抱き合ったりして涙を流したりしている様子がとても印象的でした。ホストファミリーではない子供たちも集まってきて、みんなで手を振ってバスを見送りました。この様子からだけでも、よい交流ができたことを実感できました。午前8時過ぎ、リッチモンドの関係者を乗せたバスが福野小学校を出発していきました。



交流を終えて、学校では、交流前に代表委員会で決まった『交流で大切にしたいこと』①自分のことや福野小学校のこと、日本のことを伝えるとともに、個や文化の違いを理解し、互いのよさを見付けよう、②相手を思いやった行動や言葉かけをしよう、③ジェスチャーを交えながら、簡単な日本語や学んだ英語を使って進んでコミュニケーションをとろうの3点について、学年や学級で振り返りが行われました。

終わってみれば、あっという間の5日間でした。改めて考えてみると、リッチモンド小学校の子供たちはすごいなと思います。わずか11歳、12歳にして、10日間程もの間親元を離れ、環境や言語が違う外国で生活をしているのですから。ホームシックになったり体調を崩したりしても全く不思議ではありません。『かわいい子には旅をさせよ』という諺がありますが、リッチモンド小学校の子供たちにも得るものがたくさんあったと思います。数年後、今の福野小学校の子供たちが中学生になり、何名かの子供たちがマウントテーバー中学校を訪問する際には、温かく受け入れてくれるものと思います。

最後になりますが、私は、楽しいところ、よいところだけを見てきたので、満足感しかありませんが、長い間準備をしてくださった父母と教師の会の皆さんやホームステイを受け入れてくださったご家族の皆さんはご苦労も多々あったかと思います。皆さんのお力のお陰で、よい交流ができました。私は夜の懇親会や学校参観の空き時間に、同行されたシャペロンの方と話す機会がありましたが、いつも感謝の言葉を口にしておられました。本当にありがとうございました。

福野小学校が伝統的に行っているリッチモンド小学校との交流が、今後末永く続くことを期待します。
(校長 曲 師 政 隆)